

# アレクサソフトウェアアップグレードパッケージ 10.0.1

## アレクサクラシックカメラ用 (SUP\_Alexa\_10.0.1\_28147)

リリースノート 日本語版

2014年12月16日

和訳・追記

株式会社ナックイメージテクノロジー

営業本部 営業制作部

〒107-0061

東京都港区北青山2-11-3

Tel.03-3796-7901

## A. はじめに

ARRIアレクサクラシックカメラ用のソフトウェアアップデートパッケージ(SUP) 10.0.1がリリースされたことをお知らせします。アレクサにおける10回目の大型アップデートとなります。数多くの現場訪問や、撮影監督、アシスタント、DIT、レンタルショップ、ポストハウス、ARRIパートナー会社の方々との継続的な対話から得たご意見をもとに選び抜かれた機能が実装されています。

SUP 10.0.1では、SUP 10.0をウェブサイトから削除するきっかけとなった収録映像の歪みのバグを修正しました。このリリースにはビューファインダソフトウェアのアップデート版も含まれているので、SUPをインストールするときはビューファインダも装着するよう注意してください。

本ドキュメントでは、アレクサクラシックカメラの新機能および変更点を説明します。アレクサXTカメラおよびXRモジュールでアップグレードしたアレクサクラシックカメラ用のSUP 10.0.1の機能については、別のドキュメントで説明します。

### 新機能の概要

各機能のさらに詳しい説明は、「新機能と変更点」の章で行います。

- **SONY SxS PRO+メモリーカードを利用可能**

アレクサクラシックカメラで、64GBおよび128GBのSONY SxS PRO+メモリーカードへの収録が可能になりました。

注意: SxS PRO+カード(SBP-64BおよびSBP-128B)に対応します。

2014年末に発売されるアップデート版(SBP-64CおよびSBP-128C)のカードには対応しません。

- **180°映像回転機能**

ステディカムでのローモード撮影時や、ARRIウルトラワイドズームUWZ 9.5-18の映像を回転してモニタリング可能な機能です。(カメラ本体内部メディアへの収録映像は回転しません。ポストプロセスで回転してください。)

- **REC OUT = Clean MON OUT機能**

REC OUTコネクタから、いつでもClean MON OUT信号を出力できるモードが追加されました。

また、REC OUTコネクタからLogC映像を出力し、MON OUTコネクタからREC709映像を出力するといった、ルックの選択も可能になりました。

※ Clean MON OUTとは、サラウンドビュー(収録画角外エリアの表示)とステータス表示をOFFにした映像です。

※ HD-SDIのフォーマットは、422 1.5G/リーガル レンジのみです。

※ 従来は16:9/HD/ノーマルスピード以外の収録モードではREC OUTからClean MON OUT信号を出力できませんでした。

- **ノーマル/ハイスピード切り替え時間の短縮**

ノーマルスピードモード(0.75~60fps)からハイスピードモード(60~120fps)にカメラを切り替える所要時間が約20秒に減少しました。

- **ステータス情報の暗色表示が可能**

特に暗いシーンでは、MON OUT上のステータス情報を暗色で表示すると便利です。

- **モノクロ表示のステータスアイコン**

映像の左と右のアイコンをモノクロ表示にしました。撮影現場で暗いシーンをカラーグレーディングするときの煩わしさが軽減しました。

- **カラー表示のカメラインデックスレター**

カメラユニットのカラーコードを、カメラインデックスレターを使って表示できるようにしました。フレームラインのモノクロ表示が維持されるため、撮影現場で色補正するときの煩わしさが軽減しました。

- **「Lens Squeeze Factor」メタデータフィールドの追加**

「Lens Squeeze Factor」を手動で入力できる新しいメタデータフィールドです。これにより、アナモフィック映像をポストソフトウェアにて自動でデスクイーズできます。

- **再生時のピーキングの個別設定**

再生中のMON OUTとEVFのピーキングを、収録映像のピーキングとは別に設定できるようにしました。工場出荷時の設定では「Peaking during playback = off」となっています。

- **マスターアナモフィックレンズのデータアーカイブ(LDA)用レンズテーブルの追加**

レンズに内蔵されたレンズデータシステム(LDS)エンコーダの代わりにレンズデータアーカイブ(LDA)を使用する場合に備え、ARRIマスターアナモフィックレンズのLDAレンズテーブルが追加されます。

## アップデート情報

最新の改良、機能、バグフィックスを利用できるように、カメラを最新のSUPにアップデートしてください。ただし、制作の途中で新しいSUPをインストールすることは推奨しません。

アレクサクラシックとアレクサXT/XRカメラでは、使用するインストールパッケージが異なることに注意してください。

- アレクサクラシックカメラ用のインストールパッケージの名前は、「SUP\_Alexa\_[バージョン番号]」です。
- アレクサXT/XRモデル用のインストールパッケージの名前は、「SUP\_AlexaX\_[バージョン番号]」です。

このアレクサクラシック用ソフトウェアアップデートパッケージは、SxSモジュールを搭載したクラシックバージョンのアレクサ、アレクサM、アレクサプラス、アレクサプラス4:3、アレクサスタジオにインストールできます。このSUPは、すべてのアレクサXTモデル、XRモジュールでアップグレードしたアレクサカメラ、アレクサHD、アレクサHDプラス、アレクサファイバリモート、アレクサファイバリモートプラスには使用できません。

**警告:** XRモジュール搭載のアレクサカメラ、アレクサHD、アレクサHDプラス、アレクサファイバリモート、アレクサファイバリモートプラスには、このSUPをインストールしないでください。インストールしようとすると、カメラが誤作動して、使用できなくなることがあります。この場合、修復するにはARRIサービスセンターに製品をお送りいただくことになります。

## アレクサクラシックMまたはアレクサXT Mカメラのアップデート

アレクサクラシックMおよびアレクサXT Mカメラのアップデート手順は、他のカメラでの手順と少し異なるので注意してください。新しいアップデート手順は「アップデートの方法」の章で詳しく説明します。

## ダウングレード

SUP 8.0以降のリリースに戻すことができます。

**警告:** SUP 8.0より古いアレクサクラシックソフトウェアを使用しないでください。カメラが誤作動して、使用できなくなることがあります。この場合、修復するにはARRIサービスセンターに製品をお送りいただくことになります。

# 目次

A. はじめに	2
新機能の概要	2
アップデート情報	3
アレクサクラシックMまたはアレクサXT Mカメラのアップデート	3
ダウングレード	3
B. 新機能と変更点	5
アクセサリ	5
電子ビューファインダ、MON OUT、またはその両方	5
外部収録	6
一般	6
映像	6
映像処理	6
入力	7
内部収録	7
レンズ	7
メディアアクセス	7
メタデータ/タイムコード	7
光学ビューファインダ	7
出力	8
記録メディア	8
リモートコントロール/3D	8
C. 既知の問題	9
音声	9
EVF/MON OUT	9
エラーメッセージ	9
フレームのグラブ	9
フレームライン	9
LDS/LDA	9
メタデータ	9
再生	10
収録	10
リモートコントロール	10
タイムコード	10
ユーザビリティ	10
D. アップデートの方法	11
ソフトウェアアップデートパッケージの入手方法	11
アレクサクラシックMまたはアレクサXT Mカメラのアップデート	11
アレクサクラシックMおよびアレクサXT Mのダウングレード	12
SDカードを使用してカメラをアップデートする手順	12
コンピュータのWebブラウザを使用してカメラをアップデートする手順	13
電子ビューファインダEVF-1のアップデート	13
コンピュータを使用したVマウントトップ/バックバッテリーアダプタのアップデート	14

## B. 新機能と変更点

### アクセサリ

変更点はありません。

### 電子ビューファインダ、MON OUT、またはその両方

#### 180°映像回転

MENU>SYSTEM>IMAGING>IMAGE TRANSFORM (None, Mirror horiz., Rotate 180°)

MENU>SYSTEM>IMAGING	
Sensor mode	16:9
Sensor temperature	Standard
<b>Image transform</b>	None
User Pixel Masking	Mirror horiz.
	<b>Rotate 180°</b>

180°映像回転は、ステディカム使用時に素早くローモード撮影に入れる機能です。また、ARRIウルトラワイドズームUWZ 9.5-18の映像を回転してモニタリング可能です。この機能により、ビューファインダ、REC OUT、MON OUTの映像が180°回転し、メタデータフラグが設定されます。収録映像は回転されませんが、ほぼすべてのポストソフトウェアで簡単に回転することができます。一部のソフトウェア (ARRIRAW Converter、Codexソフトウェアなど) ではメタデータフラグをもとに自動で映像を回転できます。

備考: MXF/DNxHDクリップではメタデータフラグが設定されません。

#### ステータス情報の暗色表示が可能

MENU>MONITORING>MON OUT>FRAME LINES + STATUS INFO>STATUS INFO BRIGHTNESS (0、1、2)

M>MONIT>MON OUT>FRAME L...	
Frame lines	On
Surround mask	Color line
Center mark	Cross
<b>Status info brightness</b>	<b>2</b>
Status info	On
Camera index letter	Off

MENU>MONITORING>EVF>FRAME LINES + STATUS INFO>STATUS INFO BRIGHTNESS (0、1、2)

M>MONIT>EVF>FRAME LINE...	
Frame lines	On
Surround mask	Color line
Center mark	Cross
<b>Status info brightness</b>	<b>2</b>
Status info	On

EVFとMON OUTで使用できるステータス情報のオーバーレイを暗色で表示できるようにしました。映像が暗くステータス情報が明るすぎて煩わしい場合に便利な機能です。これによりNDフィルタをモニタに重ねる必要はありません。

### モノクロ表示のステータスアイコン

映像の左と右にある長方形のステータスアイコンをモノクロ表示にしました。以前のSUPでは、一部のアイコンのオレンジ色や青色が撮影現場でのカラーグレーディングを妨げることがあり、特に暗くコントラストの低い映像を扱う場合に煩わしく感じられることがありました。

### カラー表示のカメラインデックスレター

MENU>PROJECT>CAMERA INDEX COLOR (Red、Green、Blue、Yellow、Black、White)

MENU>PROJECT	
Sensor mode	14.9
Rec. resolution 2K (2048)	Red
Codec ProRes 44	Green
-----	Blue
Project frame rate	Yellow
Camera index	Black
<b>Camera index color</b>	<b>White</b>

カメラインデックスレターに色を割り当てられるようにしました。撮影現場でのカラーグレーディングでAカメラとBカメラのカラーコーディングを画面のどこかに表示したいとき、フレームラインに色をつけると撮影監督やDITの作業を妨げてしまいますが、この機能を使えば便利です。

### 再生時のピーキングの個別設定

PLAYボタン>OPTIONS>PEAKING ON MON OUT (On、Off)

PLAYボタン>OPTIONS>PEAKING ON EVF (On、Off)

PLAY OPTIONS	
Clip end action	Pause
Show frame lines	On
Status info on MON OUT	On
<b>Peaking on MON OUT</b>	<b>Off</b>
Peaking on EVF	Off

再生中のMON OUTとEVFのピーキングを、収録映像のピーキングとは個別に設定できるようにしました。工場出荷時の設定では「Peaking during playback = off」となっています。ピーキングはリハーサルや撮影で近くにピントを合わせるツールとして便利ですが、再生映像を撮影監督、監督、クライアントが見るときに、ピーキング表示を収録映像と混同してしまうおそれがある場合はこの機能が便利です。

## 外部収録

変更点はありません。

## 一般

### レギュラー/ハイスピードの高速切り替え

レギュラーモード(0.75~60fps)からハイスピードモード(60~120fps)にカメラを切り替える所要時間が短縮されました。40秒かかっていた切り替えが、ほとんどの場合、約20秒で完了するようになりました。

## 映像

変更点はありません。

## 映像処理

変更点はありません。

## 入力

変更点はありません。

## 内部収録

### ProRes 422 LTおよびProRes 422プロキシの削除

MENU>RECORDING>INTERNAL>SETTING (ProRes 422、ProRes 422 HQ、ProRes 4444、ProRes 4444 XQ)

MENU>RECORDING>INTERNAL	
Format	ProRes
Setting	ProRes 422
Resolut	ProRes 422 HQ
Dual re	ProRes 4444
Prerecord	Off>
Quick format SxS CARD 1	>

ProRes 422 LTおよびProRes 422プロキシを、すべてのアレクサカメラから削除することになりました。

## レンズ

変更点はありません。

## メディアアクセス

変更点はありません。

## メタデータ/タイムコード

### 「Lens Squeeze Factor」メタデータフィールドの追加

MENU>PROJECT>LENS SQUEEZE FACTOR (1.0、1.3、2.0)

MENU>PROJECT	
Project frame rate	24 fps
Camera index	A
Camera index color	W 1.0
Next reel count	1.3
Lens squeeze factor	2.0
Production info	>

メタデータ「Lens Squeeze Factor」を選択できる新しいメタデータフィールドが追加されました。これにより、アナモフィック映像をポストソフトウェアにて自動でデスクイーズできます。この情報は手動で設定する必要があります。自動設定にすることも検討しましたが、現在、一部の種類のレンズではカメラと高度に通信することが可能となっており、自動設定のレンズと手動設定のレンズが混在する結果となるため、かえって混乱を招くと考えました。

### マスターアナモフィックのレンズデータアーカイブ(LDA)用レンズテーブルの追加

レンズに内蔵されたレンズデータシステム(LDS)エンコーダの代わりにレンズデータアーカイブ(LDA)を使用する場合に備え、ARRIマスターアナモフィックレンズのLDAレンズテーブルが追加されます。

## 光学ビューファインダ

変更点はありません。

## 出力

REC OUT=Clean MON OUT

MENU>RECORDING>REC OUT>HD-SDI FORMAT (MON OUT clone、Clean MON OUT)

MENU>RECORDING>REC OUT	
Frame rate	24 fps
<b>HD-SDI format</b>	MON OUT clone
Surround mask	<b>Clean MON OUT</b>
Scan format	psf
Output range	Legal
REC OUT fps sets sensor fps	Off

REC OUTコネクタから、いつでもClean MON OUT信号を出力できるモードが追加されました。

従来ではアレクサの16:9/HD/レギュラースピード設定時は、MON OUTとREC OUTを2つの独立したHD-SDI出力として利用可能でしたが、他の設定時(ハイスピード、4:3、ProRes 2K、オープンゲート)では、これまで2つの独立したHD-SDI出力がサポートされておらず、REC OUTコネクタから出力される「MON OUT clone」信号はMON OUTで使用するものと同じでした。

SUP 10では、これらの収録モードの一部でもREC OUTコネクタからの「Clean MON OUT」信号の出力がサポートされるようになりました。この信号には、通常のMON OUT信号と異なる設定ができます。また、REC OUTコネクタからLogC映像を出力し、MON OUTコネクタからREC709映像を出力するといった、ルックの選択も可能になりました。

一部のステータス情報および補助表示のみ使用できる収録モードもあるので、ご注意ください。

## 記録メディア

SONY SxS PRO+メモリーカードを利用可能



アレクサクラシックカメラ、XRモジュールでアップグレードしたアレクサクラシックカメラ、アレクサXTカメラで、64GB (SBP-64B) および128GB (SBP-128B) の両方のSxS PRO+カードが利用可能になりました。SxS PRO+カードも引き続き利用可能です。

**注意:** SONYは、SxS PRO+カードのアップデート版 (SBP-64CおよびSBP-128C) を2014年末に発売すると発表しました。これらのカードは名前が同じですが、現在のSUPでは使用できないので注意してください。すでに実装の準備は進められています。現行のSxS PRO+カード (SBP-64BおよびSBP-128B) は、新しいカードが使用できるようになるまでARRI経由で販売させていただきます。

## リモートコントロール/3D

変更点はありません。



## C. 既知の問題

本SUPで確認されている問題のリストを示します。よくあるご質問に対する答えのリストについては、ARRIのウェブサイト[www.arri.com/alexa/learn](http://www.arri.com/alexa/learn)をご覧ください。

### 音声

- ヘッドフォンのテストトーン出力を調整できない。  
テストトーン出力を切り替えるときには、ヘッドフォンを外すことを推奨します。

### EVF/MON OUT

- ステータス情報の明るさの設定が電子水準器に反映されない。  
電子水準器の明るさは、本来なら変わるタイミングでも変わりません。

### エラーメッセージ

- 「ACOM: no such device」が発生する。  
アレクサクラシックのリポート時に「ACOM: no such device」が表示されて収録不可になることがあります。この問題はリポートすると解決します。

### フレームのグラブ

- フレームのグラブにかかる時間がSUP 9.2よりも長い。  
SDカードとファイル形式によっては、フレームグラブがSUP 9.2よりも遅くなる場合があります。
- EVFおよびMON OUTでグラブアイコンが遅れて表示される。  
フレームのグラブをトリガしてから数秒間は、MON OUTとEVFのステータスバーにグラブアイコンが表示されません。カメラメニューのホーム画面にはフレームグラブ中であることがすぐに表示されるので、必要に応じてこちらを確認してください。
- フレームのグラブが失敗しても警告が表示されない。  
SDカードが挿入されていないときに、ユーザボタンのいずれかによってフレームグラブが呼び出された場合（ボタン1～3に割当可能）、警告は表示されません。

### フレームライン

- HD収録時フレームライン「ARRI 1.85 2k DCI」が表示される。  
2K収録時にフレームライン「ARRI 1.85 2k DCI」をアクティブにしてからHDモードに切り替えた場合、このフレームラインはもう使用されませんが、カメラメニューには表示されます。メニューを開いて別のフレームラインを選択するか、「Off」を選択してください。

### LDS/LDA

- LDSまたはCooke/iレンズが検出されない。  
アレクサMおよびアレクサXT MのLDSシステムがレンズを検知しないことがまれにあります。

### メタデータ

- DNxHDの最初のフレームに含まれるメタデータが間違っていることがある。  
DNxHDファイルの最初のフレームに含まれるメタデータが間違っていることがあります。
- LDA使用時メタデータフィールドにランダムなLens\_SNが生成される。  
LDA（レンズデータアーカイブ）を使用してレンズを識別した場合、カメラはランダムなレンズシリアルナンバーをメタデータに記録します。これはレンズの実際のシリアル番号を表すものではありません。

## 再生

- **2K 16:9 ProRes再生時に完全な映像が表示されない。**

16:9 ProRes 2Kで収録された素材をカメラで再生すると、再生映像が少し切り取られて小さくなります。ただし、収録されている映像はEVF/MON OUTで表示されたライブ映像と同じフレーミングになっています。

## 収録

- **音声付きで収録するとファイルが大きくなる。**

ProResクリップを音声付きで収録すると、ファイルが非常に大きくなることがあります。この現象は主にSxS PRO+カードの使用時に確認されています。ARRIRAWまたはDNxHDの収録は問題ありません。

- **「Could not deactivate rec flag」が発生する。**

収録停止時にエラーメッセージ「could not deactivate rec flag」が表示されることがまれにあります。カメラをリブートして、最後に記録されたクリップを確認してください。最後に記録されたフレームにエラーがあった場合は、収録用のメディアを新しいメディアに切り替えてください。データをバックアップすれば、このメディアは再び収録に使用できるようになります。

- **SxS PRO+カードの使用時にRECの開始が遅い。**

SxS PRO+カードを使用すると、RECボタンを押してから実際の収録開始までの時間がSxS PROカードの使用時よりも約2秒長くなります。

## リモートコントロール

- **WebリモートでLDAテーブルをカメラにアップロードするときの問題。**

コンピュータとカメラの間のETH接続が外れていないことを確認してください。アレクサのWebリモートインターフェースはベータ版で、コンピュータとカメラの間の接続状態をアクティブに監視していません。

- **プラスモジュールを搭載していないカメラのWebリモートLDA。**

アレクサWebリモートのLDAページは、レンズモータコネクタのないアレクサに関しては機能しません。

- **WebリモートでDNxHDIに対してプロジェクトフレームレート30が表示されることがある。**

これはアレクサWebリモートのバグです。アレクサWebリモートはまだベータ版です。

- **WebリモートでXR/XTカメラに対して「SxS2」が表示される。**

これはアレクサWebリモートのバグです。アレクサWebリモートはまだベータ版です。

## タイムコード

- **INT Free Runのタイムコードが00:00:00にリセットされる。**

非同期で収録しているとき、つまり「プロジェクトフレームレート」が「センサーfps」と等しくないときに、タイムコードがINT FREE RUNに設定されていると、リポート後にタイムコードが00:00:00にリセットされます。

## ユーザビリティ

- **フレームのグラブ中は通常よりもGUIの反応が遅い。**

SDカードにフレームをグラブすると、ユーザの操作に対するGUIの反応が遅くなる場合があります。この現象は、収録中にグラブを行った場合に、より顕著になります。

## D. アップデートの方法

SUP(ソフトウェアアップデートパッケージ)は、SDカードを使ってカメラに直接インストール(次の項で詳しく説明します)可能なほか、アレクサイーサネットケーブル(K2.72021.0)経由でコンピュータからカメラにインストールすることも可能です。

アレクサクラシックカメラとアレクサXT/XRカメラでは必要なSUPインストールパッケージが異なることに注意してください。

- アレクサクラシックモデルのインストールパッケージの名前は「SUP\_Alexa\_[バージョン番号]」です。
- アレクサXT/XRモデルのインストールパッケージの名前は「SUP\_AlexaX\_[バージョン番号]」です。

### ソフトウェアアップデートパッケージの入手方法

ARRIウェブサイトのアレクサダウンロードセクションからソフトウェアアップデートパッケージ(SUP)をダウンロードするには、シリアル番号を使ってアレクサカメラを登録する必要があります。

- まだ登録していない場合は、アレクサダウンロードページ( <http://www.arri.com/alexa/downloads>)を開いて「ALEXA Software Update Packet x.x」セクションまでスクロールします(「x.x」は目的のソフトウェアアップデートパッケージのバージョン番号です)。「Please → register to get an account.」をクリックすると、アレクサカスタマ登録ページが開きます。
- 関連するデータを入力し、カメラのシリアル番号をK1.71000.0-2xxx、K1.71100.0-4xxx、K1.71200.0-6xxxのような形式で入力してください。ページの最後で登録条件に合意することを忘れないでください。
- 「create account」ボタンを押すと、アカウントをアクティブにするためのリンクが記載された確認メールがシステムから送信されます。リンクをクリックすると、ログイン情報が記載されたウェルカムメールが送信されます。<http://www.arri.com/login/login.html>からログインして、再度ダウンロードセクションを開いてください。
- ソフトウェアパッケージダウンロードにアクセスすると、このダウンロードの規約と条件に同意するように求められます。条件に同意すると、ダウンロードリンクが有効になります。

#### 【備考】

ナックイメーজテクノロジーでは、国内の各カメラのSUPのバージョンが異なることに起因する現場の混乱や、オーナー様以外の方がファームウェアを書き換えることを防ぐ目的で、弊社から販売させていただいたカメラのアカウントをオーナー様同意の上で一括管理させていただいております。

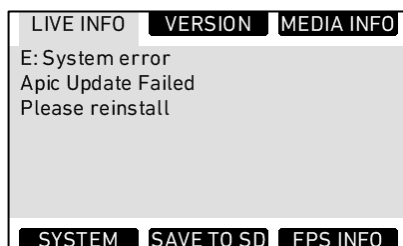
新しいSUPは、ナックイメージテクノロジーで機能や問題点の確認・検証を行った上で各オーナー様に一斉配布を行っております。

別のバージョンのSUPが必要な場合や、弊社の検証が完了する前に新しいSUPが必要となった場合は、オーナー様を通してナックイメージテクノロジーまでご相談ください。

### アレクサクラシックMまたはアレクサXT Mカメラのアップデート

アレクサクラシックMまたはアレクサXT Mを、SUP 10オープンベータ2より古いバージョンからSUP 10オープンベータ2以降に初めてアップグレードする場合は、必要なアップデートプロセスが少し異なるため注意してください(ツーパス方式アップグレードが必要になります)。たとえば、SUP 9.2からSUP 10オープンベータ2にアップデートする場合や、SUP 8からSUP 10にアップデートする場合は、ツーパス方式のアップデートプロセスが必要です。一方で、SUP 10オープンベータ2からSUP 10にアップデートする場合は、通常のワンパス方式のアップデートを使用できます。以下にツーパス方式のアップデートプロセスを示します。

- リリースノートの説明に従ってアップデートを開始します。
- カメラのアップデートが開始しますが、ある時点でAPICのアップデートに失敗したことが示されます。これは正常な動作であり、問題ではありません。CMCおよびACOMボードのアップデートが終了するまでお待ちください。
- 次に、電源をオフにし、再度電源をオンにします。
- LIVE INFO画面に次のようなエラーとメッセージが表示されます。



- 再度アップデートを開始します。今回は、カメラのアップデート手順全体が実行されます。

## アレクサクラシックMおよびアレクサXT Mのダウングレード

通常はアレクサカメラを前のバージョンのSUPにダウングレードすることを推奨しませんが、アレクサクラシックMおよびアレクサXT MカメラをSUP 10オープンベータ2からSUP 9.2にダウングレードすることは可能です。そのカメラをSUP 10オープンベータ2以降に再度アップグレードするときは、ツーパス方式のアップグレードプロセスは必要なく、通常のワンパス方式のアップグレードプロセスを使用できます。

## SDカードを使用してカメラをアップデートする手順

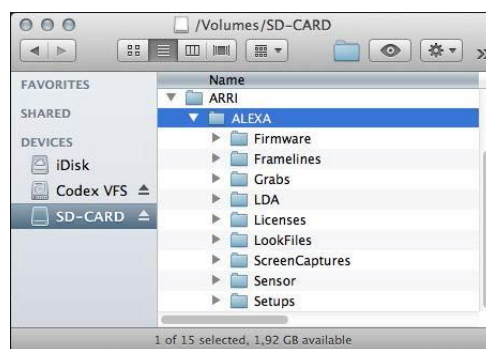
SDカードを使用するアップデートが、最も簡単な方法です。電子ビューファインダ (EVF-1) がカメラに接続されていれば、アレクサカメラとビューファインダの両方がアップデートされます。

### 注意事項

- カメラの電源が安定していることを確認してください。最も良い方法は、メイン電源をバッテリーソケットに繋いで使用する方法です。バッテリーから電源が供給されているカメラのアップデートは推奨しません。

### SDカードの準備

- FAT16またはFAT32でフォーマットされたSDカードを用意します。
- 4GBより大きいカードはサポートされません。4GBより大きいSDカードを使用する場合は、アレクサと互換性がある最大4GBのパーティションを1つ作成する必要があります。
- MENU > SYSTEM > SD CARDに移動して、次のように選択します。
  - SDカード上にアレクサのフォルダ構造を作成し、既存のデータを維持する場合は「Prepare SD card」
  - アレクサのフォルダを作成する前にSDカード上のすべてのデータを削除する場合は「Format + prepare SD card」
- アップデートパッケージ  
SUP\_AlexaX\_x.x\_zzzzz.pkg (アレクサXT/XR) または SUP\_Alexa\_x.x\_zzzzz.pkg (アレクサクラシック) をSDカードの「Firmware」フォルダにコピーします。



### アップデートの実行

- カメラをオンにします。
- 工場出荷時の設定にリセットするために、MENU > USER SETUPS > FACTORY RESETを選択します。
- SDカードをカメラのSDカードスロットに挿入します。スロットはカメラ下部のディスプレイの下にあり、スライダで覆われています。SDカードを挿入する方向は、カメラのハウジングに記載されています。
- カードアイコンがカメラディスプレイの通知エリアに表示されます。表示されない場合は、カードがカメラに認識されていません。
- MENU > SYSTEM > FIRMWAREに移動します。
- FIRMWARE画面に現在インストールされているパッケージが表示されます (Current version: xxx)。
- ジョグホイールを押してアップデートファイルを選択します。SDカード上にある利用可能なすべてのSUPファイルがリストに表示されます。
- 目的のパッケージを選択して、外側下の2つのスクリーンボタンを同時に押し、アップデートが開始します。
- 注意: パッケージがカメラにコピーされている間、SDカードを取り出さないでください。
- 「copying files」メッセージが消えたら、SDカードを安全に取り出すことができます。
- 実際のソフトウェアパッケージによって異なりますが、アップデートプロセスには15~20分かかることがあります。アップデートプロセスが終わるまでお待ちください。アップデートプロセスの完了は、緑の画面によって通知されます。
- アップデートプロセスが失敗すると、赤い画面によって示されます。この場合はカメラを再起動して、アップデートプロセスを繰り返してください。
- アップデート後は、数秒間電源ボタンを押し続けてカメラをオフにしてください。
- カメラを再度オンにしてください。これでソフトウェアがアップデートされ、カメラを使用できるようになります。

ソフトウェアパッケージのアップデートをまたいでユーザセットアップファイルを使用することはできないので注意してください。つまり、SUP 6.xで作成したユーザセットアップファイルはSUP 7.xと互換性がありません。ナックイメーজテクノロジーでは新しいSUPとともに推奨のユーザセットアップファイルを作成しオーナー様にご提供しております。

## コンピュータのWebブラウザを使用してカメラをアップデートする手順

### アレクサをコンピュータに接続する方法

- カメラをオンにします。
- アレクサイーサネット/RJ-45ケーブルKC 153-S(3.00m/9.8フィート、注文番号K2.72021.0)で、コンピュータのイーサネットポートをカメラに接続します。
- カメラを接続したコンピュータのネットワークインタフェースを次の設定値で構成します。  
IPアドレス: 169.254.1.2(スタティックIP)  
サブネットマスク: 255.255.0.0
- Webブラウザを開きます。
- MacintoshまたはAppleのBonjourプロトコルがインストールされているコンピュータを使用している場合は、アドレスバーに<http://alexaXXXX.local/update.cgi>と入力します。ここで、XXXXはカメラの4桁のシリアル番号です(たとえば、アレクサ7123の場合は<http://alexa7123.local/update.cgi>)。
- Bonjourをサポートしないコンピュータを使用している場合は、<http://192.168.xxx.xxx/update.cgi>のように、カメラのIPアドレスを使用して接続します。ここで、xxx.xxxはカメラの実際のIPアドレスのうち最後の2つのグループです。アレクサのIPアドレスは、INFO > SYSTEMで調べることができます。
- ネットワーク設定を正しく構成すると、カメラのアップデートページが表示されます。

### アップデートの実行

- ソフトウェアアップデートパッケージをコンピュータにダウンロードします。
- MENU > USER SETUP > FACTORY RESETで**工場出荷時の設定にリセット**します。
- 「Camera Update」セクションで、「browse」ボタンをクリックしてコンピュータにダウンロードしたSUPへのパスを選択し、ソフトウェアアップデートパッケージを選択します。
- 「Camera Update」セクションで「Update Camera」ボタンをクリックします。
- ファイルがカメラにアップロードされます。これには約1分かかります。ブラウザが「Update Log」ページに切り替わり、3つのメインボードにアップデートログが表示されます。このページはページをリフレッシュすることによって更新できます。同時に、カメラのディスプレイにアップデート画面が表示され、プログレスバーが表示されます。
- 実際のソフトウェアパケットによって異なりますが、アップデートプロセスには15~20分かかることがあります。アップデートプロセスが終わるまでお待ちください。アップデートプロセスの完了は、緑の画面によって通知されます。
- アップデートプロセスが失敗すると、赤い画面によって示されます。この場合はカメラを再起動して、アップデートプロセスを繰り返してください。
- アップデート後はカメラをオフにしてから再度オンにしてください。これでソフトウェアがアップデートされ、カメラを使用できるようになります。

### 電子ビューファインダEVF-1のアップデート

アレクサ電子ビューファインダEVF-1をカメラと同時にアップデートしなかった場合は、コンピュータを使用して個別にEVF-1をアップデートできます。EVF-1はカメラにインストールされているSUPパッケージと同じバージョンにアップデートされることに注意してください。

- 上記の「アレクサをコンピュータに接続する方法」に従って、コンピュータのイーサネットポートを接続します。
- EVF-1をカメラに接続します。
- コンピュータ上でWebブラウザを開き、カメラのアップデートWebページを開きます(上記を参照してください)。
- 「EVF Update」セクションで「Update EVF」ボタンをクリックします。
- 画面にアップデートの進捗状況が表示されます。
- アップデートが終了すると、画面上の最後の行に「successfully updated Evf」と表示されます。Webブラウザはページのリフレッシュを続けますが、アップデートは終了しています。これは正常な動作です。ビューファインダは最新になりました。
- ソフトウェアバージョンによっては、カメラのディスプレイに「software error - reboot camera」と表示されます。これは正常な動作です。カメラをリブートしてください。

## コンピュータを使用したVマウントトップ/バックバッテリーアダプタのアップデート

この手順ではアレクサをコンピュータに接続する必要があり、SUP 4.0以降が必要です。Vマウントバッテリーアダプタのファームウェアをアップデートするには、次のステップを実行します。

- 上記の「アレクサをコンピュータに接続する方法」に従って、コンピュータのイーサネットポートを接続します。
- 充電済みのVマウントバッテリーをマウント部に取り付けます。
- コンピュータ上でWebブラウザを開き、カメラのアップデートWebページを開きます(上記を参照してください)。
- 「V-Mount Update」セクションで「Update VMOUNT」ボタンをクリックします。
- アップデートには約3分かかります。画面上でアップデートの進捗状況を確認できます。
- エラーが発生した場合、アップデートできない古い形式のVマウントバッテリーアダプタを使用している可能性があります。
- アップデートが終了すると、画面上の最後の行に「successfully updated V-Mount Adapter」と表示されます。これでVマウントバッテリーアダプタのファームウェアは最新になりました。
- Vマウントバッテリーアダプタをアップデートできない場合は、ナックイメージテクノロジーまたはARRIサービス( <http://www.arri.com/service>)にお問い合わせください。



# 最大フレームレート アレクサクラシックカメラ (SUP 10.0.1)



収録形式				最大フレームレート (fps) <sup>(1, 2)</sup>		
センサモード	収録ファイルタイプ	収録解像度 <sup>(8)</sup>	収録ファイル設定 <sup>(3)</sup>	内部収録		外部レコーダ
				SxS PRO 32GB	SxS PRO 64GB SxS PRO+ 64GB SxS PRO+ 128GB	Codex オンボードSプラス
16:9	ProRes	HD	422	60	120	-
			422 HQ	60	120	-
			4444	40	60	-
	ProRes	2K	422	60	60	-
			422 HQ	50	60	-
			4444	30	60	-
	DNxHD (4)	HD	145	60	120	-
			220x	60	120	-
			444	30	60	-
	REC OUT HD-SDIビデオ	HD	422 1.5G SL	-	-	30
			422 1.5G DL	-	-	60
			422 3G SL (5)	-	-	60
			444 1.5G DL	-	-	30
			444 3G SL (5)	-	-	30
			444 3G DL	-	-	60
REC OUT ARRIRAW T-Link	2.8K	1.5G DL	-	-	30	
		3G SL (5)	-	-	30	
		3G DL	-	-	60	
4:3 <sup>(6)</sup>	ProRes	2K	422	48	48	-
			422 HQ	40	48	-
			4444	30	48	-
	REC OUT ARRIRAW T-Link (7)	2.8K	1.5G DL	-	-	30
			3G SL (5)	-	-	30
			3G DL	-	-	60

(1) 最小フレームレートは常に0.75fpsです。

(2) 60fpsを超えるフレームレートを使用するにはハイスピードライセンスの購入が必要です。

(3) SL=シングルリンク、DL=デュアルリンク

(4) アレクサ、アレクサプラス、アレクサMでDNxHDを使用するには、DNxHDライセンスの購入が必要です。アレクサプラス4:3、アレクサスタジオにはDNxHDライセンスが含まれています。

(5) 1.5G DLと同じですが、1本のケーブルを介します。

(6) 4:3センサモードが使用できるアレクサクラシックカメラは、アレクサプラス4:3、アレクサM、アレクサスタジオです。

(7) 4:3センサモードのREC OUTは、ARRIRAWまたはMON OUT cloneで出力できます。MON OUT cloneはマスター収録形式として使用できないため、このリストからはREC OUT HD-SDIビデオを除外しています。

(8) 「収録解像度」は、収録される水平方向のピクセル数を示します(垂直方向のピクセル数は収録ファイルタイプおよびセンサモードによって異なります)。

HD=1920

2K=2048

2.8K=2880

「-」=使用

# データレート アレクサクラシックカメラ(カメラ内収録) (SUP 10.0.1)



センサモード <sup>(1)</sup>	収録ファイルタイプ <sup>(2, 3, 4)</sup>	収録解像度	収録ファイル設定	出力解像度	カラーコーディング	データレート (24fps時) <sup>(5)</sup>	データ量 (24fps時、 GByte/h)
16:9	ProRes	HD	422	1920x1080	10ビットYCbCr	125Mbit/s	56
			422 HQ	1920x1080	10ビットYCbCr	188Mbit/s	85
			4444	1920x1080	12ビットRGB	282Mbit/s	127
		2K	422	2048x1152	10ビットYCbCr	143Mbit/s	64
			422 HQ	2048x1152	10ビットYCbCr	215Mbit/s	97
			4444	2048x1152	12ビットRGB	323Mbit/s	145
	DNxHD	HD	145	1920x1080	8ビットYCbCr	120Mbit/s	54
			220x	1920x1080	10ビットYCbCr	190Mbit/s	86
			444	1920x1080	10ビットRGB	408Mbit/s	184
4:3	ProRes	2K	422	2048x1536	10ビットYCbCr	194Mbit/s	87
			422 HQ	2048x1536	10ビットYCbCr	291Mbit/s	131
			4444	2048x1536	12ビットRGB	435Mbit/s	196

- (1) 4:3センサモードが使用できるアレクサクラシックカメラは、アレクサプラス4:3、アレクサM、アレクサスタジオです。
- (2) ProResは可変ビットレートコーデックです。通常はターゲットデータレートに近くなりますが、実際のデータレートは映像の内容によって異なります。
- (3) アレクサのProResターゲットデータレートは、Appleのターゲットデータレートにメタデータやその他の間接的なデータが加わったもので、実際の収録ファイルサイズとほぼ一致します。
- (4) アレクサ、アレクサプラス、アレクサMでDNxHDを使用するには、DNxHDライセンスの購入が必要です。アレクサプラス4:3、アレクサスタジオにはDNxHDライセンスが含まれています。
- (5) カメラに示される残り時間は、常にターゲットデータレートではなく最大データレートの理論値をもとに計算されています。これは大事を取るためです。
- ただし、必要なストレージ容量を計算するときはターゲットデータレートを使用する方がより正確な結果を得られます。